お城だより 2

2003.9.25

ＣＧによる福岡城復元

国重要無形民族文化財博多祇園山笠に「城郭悠然黒田藩」の表題もすばらしく七百二十余年の伝統ある福博の祭礼に16番山笠ソラリア1F大ホールに奉納された古式に乗った伝統技に飾られ7月1日～15日間天神のど真中に「福岡城400年」を祝して、飾り山笠がお目見えした。

元気都市・福岡と近世の福岡藩

福岡市長　山崎広太郎

福岡の名付け親である黒田長政が、慶長五年（一六〇〇）に筑前入国以来、明治に至るまで二百七十余年、他藩と異なり、国替え、改易などもなく一貫したことは、福岡にとってまことに幸運であり、今日の「元気都市・福岡」形成の礎を築いたともいえましょう。

長政は入国の初めから新田開発、道路整備に力を尽くし、太宰府天満宮や博多の神社・仏閣への寄進を行い、歴代藩主も博多山笠の復興、塩田開発、博多織の品質改良と振興をはかり、特に復興された松囃子は年に一度の無礼講として、城内に博多町人を招き入れるなど、博多っ子に大変愛されていました。

明治以降城内には、県庁、次いで歩兵第二十四連隊が置かれましたが、戦後、市民運動場が造成され、昭和二十三年秋には平和台で第三回国民体育大会を開催、福岡国際マラソン選手権大会が毎年開催され、西鉄ライオンズに地元のファンが熱狂した平和台球場は、今は鴻臚館のさらなる調査が行われております。

昭和三十二年に、国の史跡に指定された福岡城跡は、季節の花の見どころ「舞鶴公園」として市民に親しまれています。城跡一帯は、完成には相当の年月を要しますが、緑と史跡の調和したセントラルパークを創出するため「舞鶴城址将来構想」に基づき、段階的に整備を進めているところです。

福岡城四百年の記念行事につきましては数多く福岡城跡でも開催されており、ますます親しまれるお城であってほしいと願っております。

特集 お城エピソード

福岡城「四十七」の櫓

福岡市教育委員会文化財整備課主査　三木隆行

「櫓」という字。読みは？そしてその意味は？

この『お城たより』を読まれる方々にとっては何でもない常識であるでしょうが、この字からお城をも想起してすぐに「やぐら」と読む人は、普通は恐らくいないと思いますが、果たしてどうでしょうか。まず普通は「ろ」と読むでしょう。船を漕ぐ艪（ろ）、櫂（かい）の意味として。例えば「福岡城の櫓」という語を見て、お城と船がいったいどう関係しているのだろうと混乱される方がいられるとすれば、それはむしろ健全な混乱と思えますが、どうでしょうか。

さて、「櫓」は船を漕ぐ「ろ」ではなく、「やぐら」とも読むと言われてみれば、なるほどそうかと納得できます。こたつのやぐら、火の見やぐら、相撲のやぐら太鼓、吉野ケ里遺跡の物見櫓など見覚えも聞き覚えもありますし、何となく垂直的に高い建物の類といった想像もされます。そして辞典を見ますと、沢山の用例の「櫓」の一つに武器を納めて置く兵庫、「矢倉」とあることで、「櫓」＝「やぐら」＝「矢倉」＝城郭建築とぴったり腑に落ちます。

城の防衛施設として発達してきた建物のことで、石垣の角に建つ櫓を「角櫓」（すみやぐら）、「角櫓」と「角櫓」を結ぶ櫓を「平櫓」といいました。その最たるもの、いわば櫓の親玉が天守閣といえるかも知れません。

ところで、福岡城には「四十七」の櫓（やぐら）があったと伝えられます。この数字は、明治初年に編まれた『福岡県地理全誌』に記されています。廃藩置県後の明治五年（一八七二）に政府が編纂を命じたもので、福岡県では明治十三年（一八八〇）に明治政府に提出しました。いわば福岡県々民白書といった類の報告書。その福岡城の項に、「総坪数八万千九百坪、櫓四十七所、全城周囲千六百十四間、堀周囲二千六百二十間」とあります。

「四十七」というこの数字、いかがわしく響きませんか。赤穂浪士の「四十七士」か「いろは四十七文字」になぞらえての作為の数字だと。しかし、結論からいいますと、そうでもありません。数え方にもよるでしょうが、「四十七」の櫓数を越えるとも数えられます。『福岡県地理全誌』が数字を明示していることからすると、福岡藩時代の文書に記された数字であったかも知れません。

花見櫓、月見櫓、祈念櫓、多聞櫓、武具櫓、太鼓櫓、等々、現在三十数カ所の位置と名称が分かります。しかしまだ、十いくつの櫓の名称は不明です。さて「四十七」というこの櫓数、他藩のお城と比べて多いのでしょうか、少ないのでしょうか。

多聞櫓

うどんそば処　蒲鉾の峰屋

博多 峰松本家

福ビル店営業時間　平日　午前11時～午後9時
土・日　午前11時～午後8時30分
席数80席（お座敷6名様～20名様）

株式会社　峰松本家

本店（立花寺店）　福岡市博多区立花寺1丁目9-34
〒816-0062　TEL（092）503-3687（代）
FAX（092）503-6280番

天神福ビル店　福岡市中央区天神1丁目11-17 B1F
〒810-0001　TEL（092）714-0030（代）
FAX（092）714-0146番

祝うたア～福岡城四百年記念 黒田都市サミット

黒田家のゆかりの5つの市・町の首長が一同に集まり福岡城四百年を記念して福岡始まって以来の初めての試みです 皆さんのご参加を!!

日　時　平成15年10月25日（土）
午後1時30分～午後5時
（午後1時開場）

場　所　福岡国際会議場メインホール
（福岡市博多区石城町2―1）

■黒田都市サミットプログラム

（メインホール）3階

テーマ「福岡城誕生へのあゆみ」

開会式（第15代黒田長久公出席予定）

第一部　黒田家のふるさとを訪ねて
黒田家発祥と知将黒田官兵衛・長政親子によって築かれた関係都市の協力により、映像素材でよりわかりやすく各都市と黒田家の史蹟やゆかりを等を紹介する。（都市首長を希望）
※黒田家ゆかりの芸能披露

第二部　記念講演「福岡城を語る」
九州産業大学工学部教授　佐藤　正彦

第三部　民謡「黒田節」に唄われた名槍日本号の主人公「母里太兵衛」を聞く
講談師　神田　紅

■イベントコーナー

（3階メインホール横）

1　黒田都市サミットゆかりのふるさと展
各協力都市紹介コーナーと物産市

2　福岡藩ゆかりの「献上」物産市

3　黒田家文献・グッズコーナー
バッヂ・タオル・書籍・カレンダー（二十四騎）・記念パンフレット等

4　四百年記念事業の案内コーナー

■都市交流懇親会

福岡市長主催（4階中ホール）
黒田家ゆかりの都市関係者他、黒田家、主催、後援諸団体と共に交流親交行事を行う。
○式次第
（午後5時より百名程度）
○黒田家ゆかりの芸能披露
○記念写真　※関係者のみ

福岡城四百年記念 黒田都市サミットについて

―目的―

日本が将来発展していくためには、観光が大きな役割をはたすということが再認識されはじめた。観光は交通から、宿泊、飲食までさまざまな分野にわたるので、幅広い産業に波及効果があり、地域活性化の切り札、21世紀のリーディング産業として注目されている。

本市では、市名の由来でもある福岡城築城など、黒田長政初代藩主から四百年という節目を機に「福岡城四百年記念実行委員会」が設立されたのをきっかけに記念事業を実施するなか、黒田家ゆかりの関係市町と協力・相互交流を深めながら「黒田都市サミット」を開催し、相互の活性化・振興に寄与するとともに、東アジアの観光窓口として貢献することを目的とする。

◀福岡城跡ガイドマップ作成中

お知らせ

黒田如水公 400年遠忌大祭

日時　平成15年10月26日（日）
場所　崇福寺
行事　法要（10:30）
記念祝賀会
（タカクラホテル福岡）
式典（13:00～13:30）
祝宴（13:30～）
閉会・記念品引換（14:30）
会費　5,000円

博多百年蔵
石蔵酒造

吟醸 博多の地酒 如水（じょすい）

酒蔵宴会
ご予約制 10名様より承り中!
お一人様 ¥4,800
鍋料理・活魚造り
地酒・ビール飲み放題

博多百年蔵
達人が指南
そば打ち道場
四人様 ¥3,980
毎週土曜オープン!

福岡市博多区堅粕1丁目30番1号　http://www.ishikura-shuzou.co.jp

INFORMATION

会よりのお知らせ

福岡城黒田家ゆかりを訪ねて

八月六日（水）～八月七日（木）、市政だよりにて福岡市民へ呼びかけ福岡市観光案内ボランティアガイドの方々の先導によって次のコースを探訪しました。

崇福寺→東長寺→友泉亭→しんわビル福岡城跡模型見学→福岡城郭散策多聞櫓ほか

黒田藩六端城を巡る

福岡城本城と一緒に六つの支城（端城）が福岡県下に構築されました。今から四百年前に築かれた六支城と秋月城を福岡城四百年記念事業実行委員会の主催で探訪しました。

とき　15年9月20日（土）

探訪先
1、若松城（北九州市若松区）
2、黒崎城（北九州市八幡西区）
3、高取城（直方市鷹取山633m）
4、大隈城（嘉穂郡大隈町）
5、小石原城（朝倉郡小石原村）
6、左它右城（朝倉郡朝倉町）
7、秋月城

同行解説者　内田　輝雄氏・岡部定一郎氏

※好評につき10月18日（土）、追加募集しています。

韓国晋州（チンジュ）城を訪ねる

博多港からビートルで釜山経由で福岡城のモデルと云われる韓国晋州城を訪ねます。更に、筑前博多の国と大変歴史的に結びつきのある韓国の中にある筑前福岡ゆかりをいろいろと訪ねてまいります。

とき　15年11月5日（水）～8日（土）（3泊4日）

現地専門の学芸員に加えて四百年会の岡部が先導して案内いたします。

事務局にお問い合わせください。

『黒田と歴史の「弓・鑓・鉄砲」展』

福岡市博物館にて平成15年9月23日（火）～11月24日（月）開催。観覧料は無料です。

会員よりのメッセージ

◆福岡城の建設を生きている間に見たいと願っている者です。高齢者で資産の一部を福岡市に残したいと思っている人達は多数です。好・不況に拘わらず四百年を記念して募集運動を大々的に行って戴きたいと思います。九州国立博物館とは、また違った雰囲気が福岡市に出来ることを市民は渇望しています。

（南区若久　鮎川様）

◆福岡城築城が始まってから今年は四百年。私たちは福岡城をいろんな面から市民の方たちに見直してもらおうと、歴史探訪や月見などの企画を考えています。そのひとつに歴史的な名称をバス停に残してみたらと思っています。まずは「平和台」を「鴻臚館前」。平和台球場があったころからのバス停ですが、鴻臚館遺跡の整備が進められており、市の貴重な文化遺産だけに名前を広めたいと考えます。もう一つは「大手門」を「福岡城前」。バス停付近は大手門があった場所ではないし、福岡城四百年と節目の年。ぜひ市民に福岡城を定着させたいと思っています、みなさんはどう思われますか。

（福岡市中央区　団体役員・男・72）

◆貴会の企画行事に喜んで参画させて頂きます。

（西区愛宕浜　有吉様）

◆郷土福岡の歴史と文化の核であります福岡城の夢やロマンを子供たちに伝えたいと思います。

（春日市　段様）

会員募集

会費

個　人／1口　5千円
団体・法人／1口　1万円
（何れも何口でも可）

特典

会の事業に優先参加
参加費の割引
会報配布　他

申し込み

規定の申し込み用紙に必要事項を書いて郵便かFAXで会宛にお送りください。

送金

次の金融機関にお振込みください。

福岡銀行
本店　4754872
会長　桑原敬一宛

福岡信用金庫
本店　1104464
会長　桑原敬一宛

※福銀の場合は振込手数料をご負担ください。信金では本支店とも振込手数料が無料となっています。窓口に申出てください。

お願い

★入会申込書を出さないうちに送金されますと領収証や会員証の発行ができません。必ず入会申込書を出してください。

★入会申込書はいつでも事務局にご請求ください。すぐ送ります。

編集後記

「お城だより」第2号をお送りいたします。お城を見直す熱意がじわじわと広がって来た様な気がいたします。このたび、福岡城跡での観月の宴に、市と教育委員会が共催出来る予定でしたが大型台風14号のため中止いたしました。大勢のご参加ご協力ありがとうございます。
おかげさまで今後共多彩なお城を取り巻く文化行事がやっと軌道に乗って来た感じです。
役員各位も次年度をどうするのか懸命に明日を考えてのご意見が事務局へ寄せられるようになりました。
十月が本会のメイン行事が並んでいますので会員各位の積極的なご参画をお願いいたします。

表紙のCG写真につきましては（株）福岡放送外より、著作権使用の許可をいただいて掲載いたしました。

編集・発行／福岡城四百年記念事業実行委員会
住所／〒810－0041　福岡市中央区大名2－2－41　サンライフ大名　309
TEL　092－74－1380
FAX
デザイン・印刷／（有）セブンプリンティング

財団法人　黒田奨学会

本会は黒田家より土地の寄贈を受け、1915年に財団法人黒田奨学会を設立。旧黒田藩の子弟育成の主旨を引き継ぎ、社会有為の人材育成を目的として大学生への奨学金給付制度を行っている。
本年度で創立88年を迎える。
本会の役員は、その殆どが、この奨学制度の恩恵を受けた人達で組織されている。

黒田奨学会役員

総裁	黒田長久（第15代当主）	理事	横大路俊一
理事長	長徳重	理事	久保田康史
理事	目加田さくを	監事	伊達健太郎
理事	各務章	監事	渡辺幸信
理事	田中崇和	顧問	二田良之
理事	馬頭徹夫	事務職	大島汐子
理事	東寺正和	事務職	栗山由利子
理事	横山信彦	事務職	久松留美子
理事	久野修資		
理事	新原潤一郎		